

公益社団法人 全日本医薬品登録販売者協会

令和7年度 **登録販売者生涯学習研修**

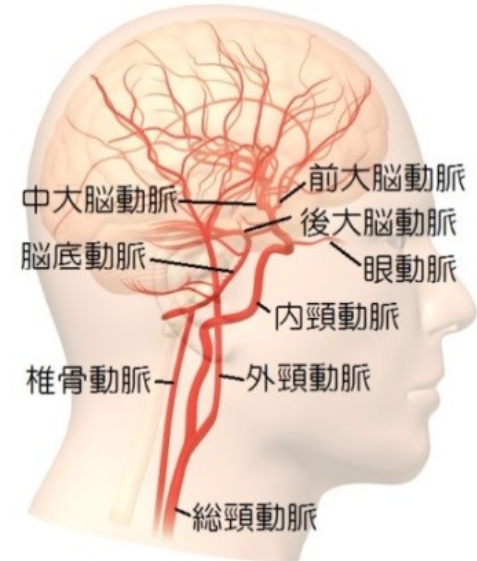
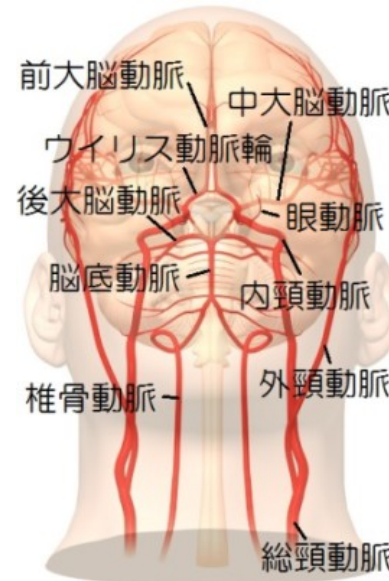
テーマ：「頭が痛い」

本草製薬株式会社
営業本部 建林 龍欧

頭痛のメカニズム①

◆痛みの3大分類

- ①炎症や圧迫など痛みを感じる部位に有害な刺激が加わった場合
(→侵害受容性疼痛)
- ②神経が何等かの異常をきたし痛みを感じるもの
(→神経因性疼痛)
- ③有害な刺激や神経の異常がないのに心の問題で痛みを感じる
(→心因性疼痛)



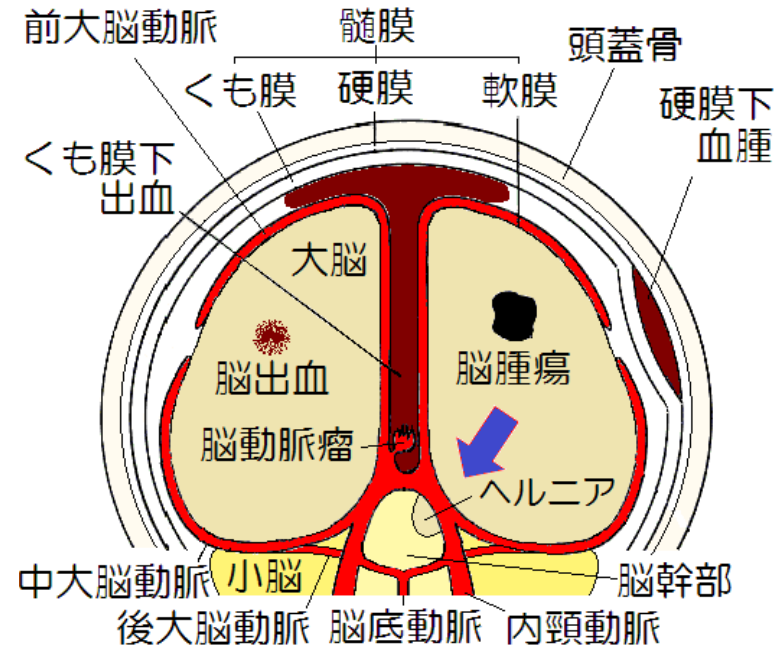
大塚製薬株式会社
脳血管3Dイラスト

頭痛のメカニズム②

頭蓋内の脳そのもの(脳実質)では痛みを感じることができる痛覚受容器が存在しないため痛みを感じません。頭蓋の骨組織は痛みを感じないが骨の表面の膜(骨膜)は痛みを感じます。

頭部の組織のうち、頭蓋骨の外側(頭蓋外)の皮膚、筋肉、血管は痛覚受容器が存在し痛みを感じます。

静脈洞や脳硬膜に分布する動脈、脳底部の動脈などが痛みを感じます。



『きょうの健康』2003年1月号を参考に全薬協作成

⇒ 頭痛の代表的なケース

- ①痛覚感受部位に炎症が起こった場合
- ②痛覚感受部位(静脈洞や動脈など)が圧迫されたりひっぱられた場合
- ③脳動脈が拡張したり炎症をおこした場合
- ④頭部、頸部の筋肉が収縮している場合
- ⑤頭蓋から出てくる脳神経や上部頸椎を出る脊髄神経が圧迫された場合などが挙げられます。

受診勧奨をするべき頭痛

- ① 急な衝撃でおこった頭痛
- ② 長時間にわたり続く頭痛
- ③ いつも起こる頭痛症状とは様子の違う頭痛
- ④ 発熱をともなう激しい頭痛
- ⑤ 頻度や程度が増してどんどん悪化していく頭痛
- ⑥ これまでに経験のない激しい痛みの頭痛
- ⑦ がんや免疫不全の病態を有する患者の頭痛
- ⑧ 50歳以降に初発の頭痛
- ⑨ 発熱、頸部硬直、髄膜刺激症状を有する頭痛
- ⑩ 神経の麻痺症状、手足のしびれ等を有する頭痛
- ⑪ ぼけ・麻痺などを伴う頭痛
- ⑫ 徐々に痛みが増強、麻痺、視力障害、目の症状等を伴う頭痛

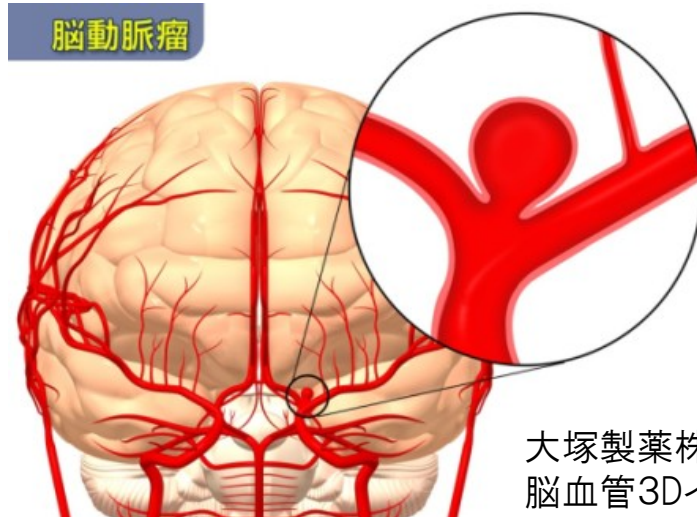
→ 命に関わる疾病の可能性(クモ膜下出血をはじめとする脳血管の病気、脳の腫瘍、感染症など)

受診勧奨をすべき疾病①

①クモ膜下出血

クモ膜下出血の多くは、大脳動脈輪(ウィリス動脈輪)と太い脳動脈(前大脳動脈、中大脳動脈、後大脳動脈)の分岐部にできた動脈瘤が、血圧上昇などで破れ、クモ膜腔に出血したものの。

突然に頭痛が起こる。バットで殴られたような**激しい頭痛**が典型的だが、**軽い頭痛**が**突然起こり、持続する**場合もまれにある。



一時的に止血された状態。
再び破裂する可能性が高い。

受診勧奨をすべき疾病②

②原発閉塞隅角緑内障(急性緑内障)

緑内障は、眼圧(眼球内圧)の上昇により、視神経が障害され、視力の低下や視野の障害をきたす疾病である。

原発閉塞隅角緑内障は、原発性で隅角が狭くなり、ついには閉じてしまうために、房水の流出が障害され眼圧が急に上昇する緑内障である。

症状としては、急に眼が痛んで見えにくくなり、吐き気や嘔吐を伴った頭痛が見られ、充血症状や明りを見るとその周りに虹が見える症状の紅視症が見られる。

③巨細胞動脈炎(GCA)による頭痛

膠原病による血管病の中で、巨細胞動脈炎が最も顕著に頭痛と関連する疾患である。激しい頭痛を感じ、一時的に片方の目が真っ暗になる場合(一過性の黒内障)、迅速なステロイド治療で防止できる。片目の失明からもう片目の失明までの期間は通常1週間未満。

④群発頭痛

片目の奥(眼窩部周辺)や側頭部に重い頭痛が発現する。頭部の片側におこる。発作頻度は日に数回、長いと3時間ほど持続する。激しい頭痛とともに痛む側の目の充血や涙、鼻閉、顔面や前頭部の発汗、まぶたの下垂や浮腫、興奮症状などを伴う場合がある。

注意すべき特徴的症狀①

・クモ膜下出血に伴う頭痛の特徴

- ☞ 頭痛が起こり始めてピークに達するまでが極めて短時間。
- ☞ 片頭痛の場合は、少なくとも5分、通常は20～30分かかる。
(まれに例外あり。突然に頭痛が起こった後、徐々に頭痛の程度が強くなるクモ膜下出血もある。これまでに経験がない激しい頭痛の場合は受診勧奨をする。)

・眼の痛みと頭痛

- ☞ 前頭部や眼の周囲の頭痛では眼の疾病の可能性が 있습니다。副鼻腔炎や副鼻腔・頭蓋底の腫瘍などでもおこりえます。

・側頭部や耳介部の痛み

- ☞ 側頭下部～耳介部の頭痛の場合は、ヘルペスや耳疾患、側頭動脈炎の可能性が 있습니다。

注意すべき特徴的症状②

・脳の腫瘍に多い頭痛の特徴

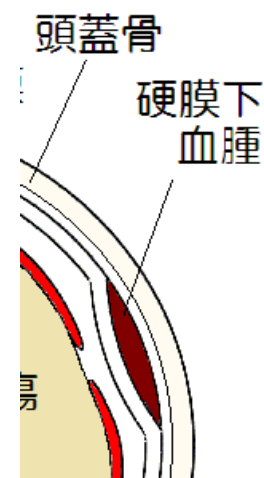
- ☞ 頭蓋内圧の亢進(脳圧亢進)による頭痛で、嘔吐を伴う。ただし、嘔吐する割には吐き気(悪心)は軽度。
早朝、目覚めた直後や息んだ時に頭痛がする。

・神経症候を伴う頭痛

- ☞ 半身麻痺(片麻痺)、四肢麻痺、感覚障害、失語など脳の異常で起こるような症状(局所神経兆候)がある場合。

・過去に頭部打撲をした方の頭痛

- ☞ 頭部を打撲してから数か月してから頭痛が出た場合は、慢性硬膜下血腫の可能性も考えられる。血腫により脳の障害をきたし、神経症候を伴う場合がある。



薬物乱用頭痛

薬剤の使用過多により起こる症状、1か月で15日以上頭痛が起こる。通常、乱をやめると消失する。以下に原因となりうる薬剤を挙げる。

☞慢性頭痛でも鎮痛剤は月10回以内とし、複合剤は避け、症状が出た時のみ服用する。

- ①血管拡張剤（ニトログリセリン、カルシウム拮抗薬、アンジオテンシンII受容体拮抗薬、プロスタグランジン）
- ②エルゴタミン製剤：医療用医薬品：主に片頭痛の急性期治療に使用（酒石酸エルゴタミン、メシル酸ジヒドロエルゴタミン）
- ③H₂受容体拮抗剤：H₂ブロッカー（シメチジン、ラニチジン）
- ④鎮痛剤（インドメタシン、アスピリン、アセトアミノフェン、スマトリプタン、麻薬性鎮痛剤：オピオイド鎮痛剤等）
- ⑤女性ホルモン剤（避妊用ピル、エストロゲン、クエン酸タモキシフェン）
- ⑥昇圧剤（MAO阻害剤とチラミン含有食品の同時摂取、エピネフリン、ドロキシドパ、メタンフェタミン）
チラミン含有＝熟成チーズ、チョコレート、納豆、醤油、レバー、ワイン、ビール、サラミ、ソーセージ、ニシン、アボカド、柑橘類

OTC薬の適応となる頭痛①

①片頭痛

- ・頭の片側がズキズキと脈打つように痛む。(まれに両側が痛むこともあります)
- ・痛みがあるときに頭を動かすと悪化することが多い。
- ・吐き気や嘔吐を伴う場合が多い。
- ・強い光や音・におい・人込みなどが刺激になり発症する。
- ・ストレスからの解放時、反動で血管が収縮状態から急激に拡張し周囲の神経を刺激して起こる。

👉片頭痛は、体を動かすと痛みが強くなるため、安静を保つことが大事です。光が刺激になる場合は、照明を消して薄暗くした場所で安静にする。また、マグネシウム不足の片頭痛もあり、大豆製品、魚介類、海藻、木の實の摂取を心掛けると良い。

OTC薬の適応となる頭痛②

②緊張型頭痛

- ・ストレスなどによって筋肉が緊張して起こるタイプの頭痛。
背中から首にかけての筋肉が緊張するために、その周囲にある神経が刺激されて炎症が起こり頭痛を生じる。
- ・頭に輪をかけているような(はちまきの様に)、締め付けられる痛みが特徴。多くは頭の両側が痛む。歩行、階段昇降などの日常的な動作で悪化しない。
- ・長期間続き、毎日痛み、肩こりやめまいを伴うことがある。
(悪心・嘔吐はない。食欲不振を伴うことがある。)

☞緊張型頭痛では、筋肉の緊張のもととなるストレスの解消が大切。「いつ」「どの程度の頭痛が起こったか」を記録する『頭痛の日記』をつけ、ストレスの原因を探ってみることも必要。
また、肩や首の回りの筋肉の緊張をほぐす運動療法も効果的。
痛みが治まらない場合は、医療用では、筋肉の緊張をとる筋弛緩薬、抑うつや不安を除く抗うつ薬・抗不安薬・鎮静薬などが使用される。

片頭痛と緊張型頭痛 比較表

	①片頭痛	②緊張型頭痛
症状の特徴	おもに拍動性(ズキズキ脈打つように痛む)	圧迫性、締め付け感(非拍動性)
頭痛の部位	前頭部から片側、60%が片側	両側(片側に偏るものは3分の1) 後頭部、はちまき様
持続時間	4~72時間	月15日以上が三カ月以上続く。
頭痛の頻度	月に2~3回(発作的に)	持続的に7~10日以上続く
よく起こる時期	不定(朝)	不定(夕方に悪化しやすい)
周期性	月経と関連	目立たない

	1. 片頭痛	2. 緊張型頭痛
発症のタイミング	<p>月経間や前後：女性ホルモンの変動</p> <p>入浴後やストレスからの解放等の血管の急激な拡張により悪化</p> <p>チョコレートやワインの摂取過剰</p>	<p>一定の姿勢で作業を継続した場合に起こる</p>
随伴症状の特徴	<p>吐き気、嘔吐、音や光に過敏になる。あくび、涙目の前に光がチカチカしたり、ギザギザしたものが見える「閃輝暗点」といわれる前触れ症状がみられることがある</p>	<p>肩や首筋のこり、めまい感</p>
誘因	<p>月経、肩こり、ストレス、睡眠不足、過眠、光・騒音・臭い・人込み等</p>	<p>貧血、低血圧、ストレス、首が長い</p>
その他の特徴	<p>家族歴あり</p> <p>若年～中年</p>	<p>家族歴なし</p> <p>若年～高年</p>

◆頭痛に用いる

解熱鎮痛成分の働き:プロスタグランジン(PG)産生阻害作用

アラキドン酸

細胞膜中のリン脂質、脳に多く存在する物質。

阻害



PGを産み出す酵素:
シクロオキシゲナーゼ

☆解熱鎮痛成分は、
シクロオキシゲナーゼの働きを
阻害することにより
プロスタグランジンの産生を抑制

プロスタグランジン
(PG) 産生

- 発痛物質の作用を増強する。
- 知覚神経が過敏になり
痛みを強く感じる。
- 血管拡張(発熱)
- 炎症を促進する作用。

痛

熱

☆解熱鎮痛成分は、痛みや熱のもととなる
プロスタグランジン(PG)の合成・産生を阻害して、
痛みの感知をやわらげます。

解熱鎮痛薬の成分

◆サリチル酸系 解熱鎮痛成分

●アスピリン、アスピリンアルミニウム(胃腸障害のリスクを減弱させたもの)
PG産生阻害作用。作用発現が早い、30分で作用発現。約6時間持続する。
胃を荒らしやすい。出産予定12週以内は使用してはいけない(添付文書に記載)
15歳未満の小児は使用できない。母乳中への移行が認められており、授乳中の人は、
相談するように記載されている。

●サザピリン

PG産生阻害作用。作用持続時間が長い。解熱鎮痛成分の中では比較的胃腸
障害が少ない。15歳未満の小児は使用できない。

●エテンザミド、サリチルアミド

エテンザミドは、PG産生阻害作用が中心となっている他の解熱鎮痛成分に比べ、
痛みが神経に伝わるのを抑える働きが強いという特長があるため、他の解熱鎮
痛成分と組み合わせて配合され相乗効果を期待されることが多い。

☞代表例:ACE処方(アセトアミノフェン、カフェインとの併用)

2成分とも水ぼうそう(水痘)もしくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある
乳・幼・小児(15歳未満)は使用前に相談するよう添付文書に記載されている。

サリチルアミドは胃・十二指腸潰瘍の診断を受けた人は相談することとなっている。

◆プロピオン酸系 解熱鎮痛成分

●イブプロフェン

PG産生阻害作用。**鎮痛・解熱作用強い、抗炎症作用が特に強い**。作用発現は比較的遅いが(1, 2時間)、**3~6時間作用が持続**、約8時間で効果が消失。**のどの痛み、関節痛**がある場合にとくに有効。胎児の動脈管収縮作用の恐れがあるので出産予定12週以内は使用不可(☞添付文書に記載)。**15歳未満は使用できない**。

◆アニリン系 解熱鎮痛成分

●アセトアミノフェン

比較的安全性が高く、**子供も使いやすい**。**胃腸障害が少ない**。**血圧や血糖値への影響も少ない**。作用発現が早く、持続時間も長いが**抗炎症作用は殆どない**。**飲酒の多い人**では、アセトアミノフェンが早く代謝される傾向があり、薬としての効果が十分に発揮されないと同時に毒性が現れやすくなるので肝障害の注意が必要です。

◆ピリン系 解熱鎮痛成分

●イソプロピルアンチピリン

解熱鎮痛作用が比較的高いが、抗炎症作用は弱い。1~2時間で作用が発現、4~6時間作用が持続。「ピリン疹」と呼ばれる湿疹の副作用の可能性。腎障害、血液障害の副作用報告があるので出血や感染症に要注意。妊婦、高齢者不可。

頭痛薬に配合されるおもな有効成分

○鎮静成分

①アリルイソプロピルアセチル尿素

習慣性、依存性があり、薬物乱用性頭痛の一因ともなり得る。血小板減少性紫斑病の副作用があり、国外では使用されていない。鎮痛剤の作用を増強するはたらきがある。

②ブロムワレリル尿素

意識の鈍麻を起こす。鎮静効果があり、緊張型(ストレス性)頭痛に有効。

☞ 上記2成分とも眠気がおこる可能性があり、添付文書に、乗物又は機械類の運転操作をしないこととの注意記載がある。

○カフェイン

脳細動脈に直接作用して脳血管を収縮して脳血流量を減少し頭痛を抑える。血管拡張性および脳圧亢進性頭痛に有効。母乳中への移行が認められており、授乳中の人は相談するよう記載されている。乳児の体内に蓄積して不眠や頻脈を引き起こす可能性がある。胃酸分泌を促進してしまう作用もある。

○メトカルバモール

痛みなどの刺激が伝わる神経の反射をおさえ、筋肉の異常な緊張やこりを除いて痛みを緩和する。(OTC製品では、ドキシジン錠:アリナミン製薬)

特に留意すべき鎮痛成分の記載事項等

◆アスピリン、アスピリンアルミニウム、アセトアミノフェン、エテンザミドを含有する製剤は、心臓病、腎臓病、肝臓病または胃・十二指腸潰瘍の診断を受けた人は、相談するように記載がある。（補足：解熱鎮痛剤の大半は胃腸障害のリスクがあり空腹時の服用はさけたほうがよい。）

◆イブプロフェン配合製剤では、上記の記載に加え、全身エリテマトーデス、混合性結合組織病、潰瘍性大腸炎、クローン氏病の罹患歴のある人に対する注意も記載されている。

◆ぜんそく

ほとんどの解熱鎮痛剤によって誘発されるぜんそく発作。生命の危険を伴うおそれがあるため、ぜんそくの診断を受けた患者は使用禁忌。

◆主な鎮痛薬 成分比較

製品名	鎮痛成分(1回服用量中)	眠気を誘う成分	胃腸保護・制酸成分
エーアイプレミアム (本草製薬)	 イブプロフェン 195mg アセトアミノフェン 195mg (1日2回服用)	配合なし	配合あり ・制酸作用 ・皮膜を貼り胃粘膜を保護
イブ スリーショット プレミアム (エスエス製薬)	 イブプロフェン 195mg アセトアミノフェン 195mg (1日2回服用)	配合なし	配合ありだが 制酸が主作用
バファリンプレミアムDX (ライオン)	 イブプロフェン 160mg アセトアミノフェン 160mg (1日3回服用)	配合なし	配合あり ・制酸作用 ・皮膜を貼り胃粘膜を保護
バファリンプレミアム (ライオン)	 イブプロフェン 130mg アセトアミノフェン 130mg (1日3回服用)	アリルイソプロピルアセチル 尿素	配合あり ・制酸作用 ・皮膜を貼り胃粘膜を保護
イブクイック頭痛薬DX (エスエス製薬)	 イブプロフェン 200mg (1日2回服用)	アリルイソプロピルアセチル 尿素	配合ありだが 制酸が主作用
イブA錠 (エスエス製薬)	 イブプロフェン 150mg (1日3回服用)	アリルイソプロピルアセチル 尿素	配合なし
ナロンエース (大正製薬)	 イブプロフェン 144mg エテンザミド 84mg (1日3回服用)	ブロモバレリル 尿素	配合なし
カロナールA (第一三共) 、 タイレノール (ジョンソン アンド ジョンソン)	 アセトアミノフェン 300mg (1日3回服用)	配合なし	配合なし
バファリンA (ライオン)	 アスピリン 660mg (1日3回服用)	配合なし	配合あり ・制酸作用 ・皮膜を貼り胃粘膜を保護
リングルアイビー (佐藤製薬)	 イブプロフェン 200mg (1日3回服用)	配合なし	配合なし

◆頭痛に用いるおもな漢方薬

葛根湯(カクコントウ)

【**効能効果**】 体力中等度以上のものの次の諸症：感冒の初期(汗のかいていないもの)、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

【**ポイント**】 かぜのひきはじめ(汗が出ない、さむけ、鼻炎)の漢方として有名だが、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛みなどの効能があり繁用される。

肩・首・うなじの症状に効果的な葛根、肩や首の緊張をやわらげ痛みを鎮める芍薬、体を温め発汗を促す麻黄・桂皮などで構成されている。

五苓散(ゴレイサン)

【**効能効果**】 体力に関わらず使用でき、のどが渇いて尿量が少ないもので、めまい、はきけ、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う次の諸症：

水様性下痢、急性胃腸炎(しぶり腹のものには使用しないこと)、暑気あたり、頭痛むくみ、二日酔い

【**ポイント**】 小便不利、むくみ（体内に余分な水分が蓄積）

川芎茶調散(センキュウチャチョウサン)

【**効能効果**】 体力に関わらず使用でき、頭痛があるものの次の諸症：かぜ、頭痛、血の道症(＝月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動によって現れる精神不安やいらだち等の精神神経症状及び身体症状のこと)

頭痛に用いる主な漢方薬

大柴胡湯(ダイサイコトウ)

【効能効果】 体力が充実して、脇腹からみぞおちあたりにかけて苦しく、便秘の傾向があるものの次の諸症：胃炎、常習便秘、高血圧や肥満にともなう肩こり、頭痛、便秘、神経症、肥満症

【ポイント】 体力も体格も充実。偏食、深酒、便秘、イライラしやすい、高血圧

通導散(ツウドウサン)

【効能効果】 体力中等度以上で、下腹部に圧痛があって便秘しがちなものの次の諸症：月経不順、月経痛、更年期障害、腰痛、便秘、打ち身(打撲)、高血圧の随伴症状(頭痛、めまい、肩こり)

【ポイント】 大柴胡湯と着眼点は類似するが、婦人科症状・女性ホルモンに関連したケース、痛みの症状が顕著な場合に使用。

桃核承気湯(トウカクジョウキトウ)

【効能効果】 体力中等度以上で、のぼせて便秘がちなものの次の諸症：月経不順、月経困難症、月経痛、月経時や産後の精神不安、腰痛、便秘、高血圧の随伴症状(頭痛、めまい、肩こり)、痔疾、打撲症

【ポイント】 通導散に近い。のぼせ、神経症状、便秘など症状が急で激しい。

釣藤散(チョウトウサン)

【効能効果】 体力中等度で、慢性に経過する頭痛、めまい、肩こりなどがあるものの次の諸症：慢性頭痛、神経症、高血圧の傾向のあるもの

【ポイント】 早朝、起床時の頭痛、高血圧(下限血圧)、イライラしやすい
釣藤鈎が脳の循環を改善し興奮を鎮静すると考えられている。

五積散(ゴシャクサン)

【効能効果】 体力中等度またはやや虚弱で、冷えがあるものの次の諸症：
胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、更年期障害、感冒

【ポイント】 体が冷えて汗が出にくい。冷えると症状が悪化する人。麻黄配合だが胃腸に有効な平胃散の薬味が配合されており胃腸炎にも適応する。

当帰四逆加呉茱萸生姜湯(トウキシギャクカゴシュユショウキョウトウ)

【効能効果】 体力中等度以下で、手足の冷えを感じ、下肢の冷えが強く、下肢または下腹部が痛くなりやすいものの次の諸症：冷え症、しもやけ、頭痛、下腹部痛、腰痛、下痢、月経痛

【ポイント】 冷えが強い、手足の末端が冷える、しもやけ、冷えると痛みが悪化する。

呉茱萸湯(ゴシュユトウ)

【効能効果】 体力中等度以下で、手足が冷えて肩がこり、ときにみぞおちが膨満するものの次の諸症：頭痛、頭痛に伴うはきけ・嘔吐、しゃっくり

【ポイント】 手足の冷え、はきけ・嘔吐を伴う頭痛

苓桂朮甘湯(リョウケイジュツカントウ)

【効能効果】 体力中等度以下で、めまい、ふらつきがあり、ときにのぼせや動悸があるものの次の諸症：立ちくらみ、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ、神経症、神経過敏

【ポイント】 胃内停水感、めまい、神経過敏

半夏白朮天麻湯(ハンゲビャクジュツテンマトウ)

【効能効果】 体力中等度以下で、胃腸が弱く下肢が冷えるものの次の諸症：頭痛、頭重、立ちくらみ、めまい、蓄膿症(副鼻腔炎)

【ポイント】 胃弱、食欲ない、回転性のめまい

桂枝人参湯(ケイシニンジントウ)

【効能効果】 体力虚弱で、胃腸が弱く、ときに発熱・悪寒を伴うものの次の諸症：頭痛、動悸、慢性胃腸炎、胃腸虚弱、下痢、消化器症状を伴う感冒

【ポイント】 冷え症、胃腸虚弱、下痢